

2020. 11. 15 神は最後まであなたを助けてくださる（新約聖書：第二テモテへの手紙 1 章 9～12 節）

<https://www.youtube.com/watch?v=qkssTMsdlSc>

『神は最後まであなたを助けてくださる』おはようございます、第二礼拝へようこそ。日曜の朝は二つの礼拝があります。第一礼拝は聖書預言のアップデートで、第二礼拝は聖書の一節一節の学びです。現在は、「第二テモテへの手紙」を学んでいます。ぜひ一緒に参加してください。今日の箇所は第1章です。ああ、画面が間違っています。ああ、日付も間違っています。無視してください。何を教えるか、私は多分知ってるべきですよ（笑）今日は8日ではなく15日なので、まずそれを訂正して、聖書箇所は「第二テモテ 1 章 9 節から 12 節まで」となります。なんという週なんだ、申し訳ありません。念のために言っておきますが、新しいウェブサイト、「JDFarag.org」が立ち上がりました。ディスカッションフォーラムが、たくさん活用されています。まだの方は、ぜひチェックしてみてください。リンクは、この動画の説明欄の下にあります。また、始める前に、知っておいてほしいことがあります。週の初めに知らされたことなんです、偽の JD Farag アカウントがあります。それはフェイスブック上にあって、その人たちは...この人たちのために祈る必要があります。彼らはイエスを必要としています。彼らは写真を利用して、それが私たちのサイトのように見せかけてますが、そうではありません。偽物だと判るのは、彼らはお金を要求しているからです。我々は、絶対にお金を求めません。実際、ネットで見ている人のために申しますが、この教会では献金の時間ありません。献金の時間を設ける事は全く悪い事ではありませんが、私たちは、後ろに箱を二つ置いてあるだけです。私たちは決して献金を要求しません。だから、友達リクエストや、私からと思われるメッセージを受け取った場合、使徒パウロになったような気がしてきました（笑）今の、マズかったですかね.....「私から出たかのような手紙（2テサロニケ 2:2 参照）」、というのも、当時の Facebook に、使徒パウロの偽アカウントがありましたから。でも、そういう物が届いたら、それは私ではありません。すぐに報告してください。私たちには、素晴らしいソーシャルメディア・チームがいます。そのチームが対処します。では、御言葉に入りましょう....へい、この画面は間違っていない。うわー、イエス様、ありがとうございます。今日は11月15日の日曜日です。今、自分に言い聞かせてるだけです。（笑）第二テモテ、1章、9節から12節まで読み進めます。ここにいる皆さんで、可能な方はお立ち下さい。私が読みますので、フォローして下さい。無理な方は、座ったままで結構です。使徒パウロは、聖霊に導かれて書いています。

第二テモテ 1 章

9 神は私たちを救い、また、聖なる招きをもって 召してくださいましたが、それは私たちの働きによるのではなく、ご自分の計画と恵みによるものでした。この恵みは、キリスト・イエスにおいて、私たちに永遠の昔に与えられ、

10 今、私たちの救い主キリスト・イエスの 現れによって明らかにされました。キリストは死を滅ぼし、福音によっていのちと不滅を明らかに示されたのです。

11 この福音のために、私は宣教者、使徒、また教師として任命されました。

12 そのために、私はこのような苦しみにあっています。しかし、それを恥とは思っていません。なぜなら、私は自分が信じてきた方をよく知っており、また、その方は私がお任せしたものを、かの日まで守ることがおできになると 確信しているからです。

うわお～、私たちが言う「チキン・スキン(鶏肌)」ですね。本土の皆さん、「Goosebumps(鳥肌)」のことです。それでは、祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。ああ、主よ、御言葉を本当に感謝します。それはいのちです、生ける水です。それはいのちのパンです。主よ、私たちは飢え渴いており、あなただけが、その飢え渴きを満たすことができる お方であることを知っています。主よ、今日私たちがあなたの御言葉にあつて共に過ごすこの時間に、私たちの飢え渴き癒やして下さい。我々を導き、養い、励まして下さい。主よ、私た

ちが共にいるこの時間になさってください、全てのことに感謝して祈ります。イエス様の御名によって、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日私が皆さんにお話したい事は、私がこういう言い方をする時、誤解しないでください。何であれ、あなたが経験している事を、蔑ろにするつもりはありません。その試練や困難が何であれ、あなたの経験しているものが何であろうと、それが何であっても私には重要ではありません。いや、誤解を招く表現になりました。重要なんです、それは関係ありません。この方がいいですかね。これ以上うまく言えませんから、それでよしとしてください。それは関係ありません。あなたが何を経験しようとして、神は最後まであなたを助けてくださいます。以上！ 私は神の御言葉と、神の愛、神の御性質に基づいて約束します。私は今日この日、あなた方に証言します。私は38年間イエス・キリストと共に歩んできましたが、彼は、想像を絶する、言葉では言い表せられない困難を、私に乗り越えさせてくれました。包み隠さず、正直に言って、私は本当に、「もうおしまいだ」と思いました。これはもう無理だ、と。主は前は助けて下さったが、今回はもうこれで終わりだ。しかし、私はまだここにいます。神が、私をここまで連れてきてくださいました。神は忠実です。なんでもお出来になる方です。神はいつくしみ深く、神は私たちをととも愛してくださっています。今日はそれについてお話したいと思います。もし私が叫んでいるようであれば、オンラインの皆さん、私が叫んでいるのは雨が降っているからです。雨が少しうるさいので、叫ぶ口実になります。それが私の言い分であり、それは譲りません。私の国の風習なのです...>(*アラブ訛りで)今日の御言葉の中では、使徒パウロが、聖書全体の中で最も深遠であり、且つ、単純な二つの真理であると私が思うものを明らかにしています。とても深淵なので、これらの二つの真理は、この人生の困難と苦難、試練と苦しみに関連するすべてを絶対的に変えてしまう傾向があります。導入の部分からして、大げさな言い方ですけど、それは真実です。本当です。私の祈りと希望は、この聖書箇所によって私が励まされたように、皆さんも今日、励まされることです。それは私に、神の誠実さといつくしみ深さを思い起こさせてくれました。どんな状況でも。私が主との歩みの中で学んでいることの一つは、どんなに悪いことがあっても、それは、神がいつもどれだけ慈しみ深い方であるかを 変えることはできないということです。あなたの人生のあの状況、あの葛藤、あの困難には、あなたの人生における最終決定権はありません。神が最終決定権を持っています。あなたにもそれが分かります。待っていてください。分かりますから。最初のものは9~10節にあります、それは主がしてくださった事のためだ、ということです。「主がなさった」事であることを強調します。ここでパウロは、それが私たちがする事のためには全くないということを、テモテに思い起こさせ、励ましてさえます。言い換えれば、それはイエスがすでになさった事のためなのです。宗教は、人間が神のために行うものであると言われており、これはその通りです。しかし、キリスト教は、神がすでに人間のためにしてくださった事なのです。神は、私たちを愛してくださっているからこそ、そのひとり子を遣わされ、私たちの代わりに、私たちのために 死なせてくださったのです。それほど神は私たちを愛しておられるのです。神はすでにそれをしてくれました。すでに完了しているのです。当たり前のことのように聞こえるかもしれませんが、事実として、イエスが私たちのために死んで、私たちを救われたということは、次の事を意味しています。神が私たちのためになさらない事は何もないということです。神がすでにして下さった事の故に。注意してお聞き下さい。敵は、悲しいことに、私たちが人生の試練の真只中にいる時に、神の慈しみ深さを疑わせることで、ある程度成功しています。それをもっと詳しく説明すると、こんな感じです。あなたがこの試練を経験していると、敵がすぐそこにおいて、神があなたに怒っていると、あなたに思い込ませようとしています。(理由があつてこの言葉を使っています)。神は、あなたを罰している、と。だからあなたは今、苦難の中にあるのだ、と。それは、真実ではありません。それは偽りの父から出た嘘です。なぜなら、私の神との関係は、私が神のために 何をするかで決まるものではないからです。想像できますか？

考えてみてください。どんなものか、ちょっとだけやってみましょう。議論上、ちょっとだけ。神の慈しみ深さが、私の善良さの上に成り立っているとしましょう。あ、ちなみにネタバレですが、この後、第二テモテでパウロは御霊によって、テモテに言うことになります。

「私たちは真実でなくても、彼は常に真実である。」 (2テモテ 2:13)

つまり、それは私が何をするかという点において私に基づくものではないのです。彼は既にそれをなさいました。もう終わった事です。でも、とりあえず仮説に戻りましょう。神の私に対する慈しみ深さが、私の誠実さ、私が善良なクリスチャンであることの上に成り立っているとしましょう。でも、今週は私はちょっと酷かったとしましょう。やれやれ、ちょっとしくじってしまった。「そうなんですか？」私じゃないですよ。これは仮の話でしたね？ そんな目で見ないで下さい。(笑) うん、ちょっとへまをしてしまった。またしても。すると敵がこう来ます。「俺だったら、しばらく身を潜めておくれ。」「そうだな、私だったら、今週は教会を欠席する。」「隣に座っている人が知ったら…」隣に座っている人を見ないでくださいね！ あなたが何をしたか、彼らが知ったら… ほーっ！そして、彼は、神が私たちに怒っていると私たちに思い込ませます。「あ〜。また何かやってしまうぞ。ああ、いやだ。怒られるぞ。」それが何をするかと言うと、それは私たちを、神から遠ざけます。だから、それが主ではないことが分かるのです。それは非難だからです。ローマ人への手紙8章1節が言っています。

「こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が 罪に定められることは決してありません。」 (ローマ人への手紙8章1節)

神はあなたのことを怒っていません。彼は怒ってはいません。私たちの問題は、天の父を、私たちの地上の父親という レンズを通して見ることです。ああ、私の地上の父親はいつも私に腹を立てていました。いつもです。おそらく理由があったのですが、父はいつも私に怒っていました。私は、朝、父が家を出るまで起きないようにして、夜、彼が家に戻ってくる前に寝ようと思いました。ただ父に会わずに済むように。父がいつも怒っていたからです。私はいつも面倒を起こしていました。マーク・トウェインが言った有名な言葉を思い出します。「一日の終わりには、子どもにお仕置きをなさい。間違いなく、彼らは何か悪い事をしたはずだから。」(笑)私たちは、神をそんな風に見ているのではないのでしょうか？ またお仕置きをされてしまうな。やれやれ。しかし、それは真実ではありません。どういう意味でしょうか？ 主があなたのためにして下さった事のお陰だよ。あなたは、主があなたのために何をしてくれたか 知っていますか？ 一はい。主が、あなたのために進んでそれをして下さるなら、彼があなたのために” やらない” ことがあるのでしょうか？ ヤコブは何と言いましたか。

「すべての良い贈り物と、またすべての完全な賜物は、上からのものであり、」ヤコブの手紙1:17(a)

神は心変わりやされることなく、行ったり来たりすることも、躊躇もありません。良いものであれば、それは神です。それはあなたの物です！ 良いものであれば、神はあなたに与えてくださいます。あなたが善良だからではありませんよ。なぜなら、だって… 良い人はいますか？ 手を上げないでくださいよ。

「尊い(良い)方は、神おひとりのほかには、だれもありません。」 (マルコ 10:18)

ローマ人への手紙8章32節を見て下さい。この素晴らしい章の中の、この一節は、.... 私はいつも言ってるのですが..... 聖書の中で私が一番好きな章の一つで、ローマ人への手紙8章で、聞いてください。もしあなたがあなたに対する神の愛を疑って、神の愛を疑問に思っているなら、ローマ人への手紙8章全体に、時間を費やすことをお勧めします。でも、ここにあるこの一節、8章32節は、私にとって、すべてを変えました。それは全てのものに対する私の見方を変えました。困難や試練、この人生の苦悩を 私がどう見るかを変えてくれました。それによって変えられてから、以来、振り返ったことは一度もありません。言ってみれば、それはゲームチェンジャーです。パウロが言っていることに耳を傾けてください。実際には、これは修辭的な質問です。彼は言います。「私たちすべてのために、ご自分の御子さえも 惜しむことなく死に渡された神が、…」ここで修辭的な質問の登場です。どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。」ちょっとこれにつ

いてお話ししましょう。ここで、彼が何を言ってるのか、分かりますか？ 彼は、イエスはあなたのために死なれたと言っています。神は、そのひとり子があなたのために死ぬことを惜しまれなかったのです。そんな神が、あなたのためになさらない事が何かあるでしょうか？ いいですか。私たちは、主を信頼しています。ラッパが鳴って キリストにあって死んだ者が最初に蘇り、 生きている私たちが、空中で主に会うために 引き上げられる事について。私たちはその事で主を信頼していますが、 今月の家賃のために主を信頼することができないのですか？ なんで、そうなるのですか？ 彼が言っているのは、そういうことなんです。もうちょっと優しく言えたかもしれないけど、今日はちょっと 皮肉っぽい気分なんです。あれは皮肉っぽかった（スナーキー）ですよね。それに、いい言葉でしょうか？ 「スナーキー」その意味にピッタリの響きを持つ言葉の一つですよね。「スナーキー！」しかし、真面目に、これが、神が私のためにしてくれた事です。なら、神が、私のためになさらない事が何かあるでしょうか？ 悪いものだったら、神は私にくださらないでほしいし、自分にとって悪いものを与えてもらいたくはないですよね？ しかし、それが良いものなら、なぜ神がそれを惜しまれるのでしょうか？ それもよく考えてみましょう。神はご自身の御子を惜しむことなく、 私たちのために差し出してくださったのです。では、神は何と言うのでしょうか？ 「聞け、わたしの役目は終わった、いいか？」馬鹿げた説明ですが、要点はわかると思います。「わたしはあなたにわたしのひとり子を与えた。これ以上何が欲しいのか？」 「ここからは、あなた次第だ。あとは自分でやれ。わたしの役割は果たした。」冗談でしょうか？ そんなのありえない！？ それは神のご性質ではありません。それが第二の理由です。どういう状況にしろとも、あなたが 神が最後まで助けて下さることを確信できるのは、 神のご性質のためです。11 節と 12 節です。私はこの二つの節で、パウロが言っている事だけでなく、恐らくもっと重要なことに、パウロが言っていない事の重要性は、 強調しても 足りないのではないかと思います。12 節で彼が言っていることに注目してください。「テモテよ。そのために、私はこのような 苦しみにも会っている。」彼は、文句を言っているわけでも、 同情を求めているわけでもありません。彼にとっては、それは名誉の印です。彼は単純に、自分が苦しんでいる理由を説明しているだけです。しかし、彼はそれから、テモテにこう伝えます。彼は、自分の信じて来た方をよく知っていると言います。興味深いですね。彼が、何とないかに注目してください。彼は、自分が信じて来た「もの」を知っていると 言っています。そうは言っていない。彼は、自分が信じて来た「方」を知っていると 言っています。さて、なぜこう区別をして、それを強調するのかといえば、あなたが信じている「もの」は、決してあなたを最後まで助けてくれないからです。あなたが信じている「お方」が、あなたを最後まで助けて下さるのです。大事なことは、神がどういうお方であるか、神がどれほど慈しみ深いお方か、ということです。「コリント人への手紙第一、10 章 13 節。」どうか、聖書のこの箇所もお開き下さい。もっと良い表現がないのですが、これはもう一つのゲームチェンジャーです。私たちが、多分、知らず知らずのうちに引用するものです。実際、一種の常套句のようになっています。大抵はこんな感じです。「神はあなたの手には負えないものは与えられないよ。」私の場合は、試練を乗り越えようとしている時、誰かにそう言われてもなかなか受け入れられません。「言われなくても、分かっている！」言うのは簡単だ。あなたはいいよね。何の問題もない！しかし、それがどこから来ているのかというと、この節、「第一コリント 10 章 13 節」です。パウロの言うことを見てみましょう。彼は言っています。試練は皆... 翻訳によっては、誘惑となっていますが、原文では同じ語です。考えてみれば、どんな誘惑も試練であり、どんな試練も誘惑です。でしょう？ 同じ言葉です。「あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。」人に共通しているものです。「神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに 脱出の道も備えていてくださいます。」さて、これを見てゆきましょう。まず第一に、あなたの終わりとなるような試練も 誘惑も、神はあなたの人生に許されません。神はそれを許されません。ところで、あなたのその試練ですが... 私たちには、時代を超えて、同じような試練を 経験したキリストにある兄弟姉妹がいます。神は、彼らに似たような試練を乗り越えさせて下さいました。ペテロは、それが起こったとき、何か思い

がけないことが 起こったかのように驚き怪しむなど言っています。「神よ、何をしておられるのですか！！」みたいに。「わたしが何をしているかなど、何を言っているんだ？」「どうして私にこんなことをするのですか？」「いやいや、わたしは、あなたに何もしていない。」「わたしは、あなたの「ため」に、こうしているのだ。あなたに対してではない。」まず第一に、どんな試練もあなたをしのぎ、あなたの終わりになるものではありません。その理由は、神が真実なお方だからです。神は、その試練において、あなたが耐えうる以上のことを許されません。でも、ここからが肝心なところですよ..... 正直に言えば、そうでなければいいと思います。なぜなら、彼が言うには、試練と共に、試練の中で、試練を通して、あなたがその試練に耐えられるように、神はいつも脱出の道を用意してくださるからです。言い換えれば、「私はどうやってこれを乗り越えるのか？」 ああ、それを経験することによって。えっ？ ああ、主よ、あなたは最後まで私を 助けてくださると約束したじゃないですか。でも、現実にはそれは私たちの祈りではありません。それは聖書的で正しく、高潔で良い祈りに聞こえますよね？ 私たちが本当に、何を求めているか知っていますか？ 主よ。私にこの試練を乗り越えさせて下さいとは 祈っていません。主よ、この試練から逃れさせてください と言ってるのです。でしょう？ わたしは、この試練から、あなたを逃れさせるつもりはない。わたしは、あなたに、この試練を乗り越えさせる。なぜなら、わたしがあなたに教えたい事で、わたしが許しているこの試練の中でしか 学ぶことの出来ないものがあるからだ。一日中、日光が降り注いでいるものを、何と呼ぶか、知ってますか？ オオ、ハッピーデェイ~~♪ 雨の降らない、ただ天気の良い日、青い空。彼らが、それを何と呼ぶか知っていますか？ 砂漠です。不毛な砂漠。何も育たない。もっといい例えがあったら教えてください、でもこれが、私のベストです。でも考えてみてください。私たちはどうやって成長するでしょう？ もし、なにかもが晴れて青空で、素晴らしかったら？ 私たちの人生は不毛です。(私たちを成長させるのは) 人生の嵐、人生の試練です。私たちが最初にハワイに引っ越してきた時、ここで生まれ育った妻は、いくつかの事を、私に説明しなければなりません。本当はたくさんの事でしたけど。その一つは、通りの名前の読み方を学ぶことでした。いまだにうまく発音できませんが、GPS もどうせ、あまり上手く言えません。笑えませんか？ ライクライク(*リケリケ) ハイウェイ。いや、違います。とにかく、話を戻します。しかし、妻が私に説明せねばならなかったことの一つは、家の前庭にあった、プルメリアの木のことでした。冬になって、この木を見て、私はこう思っています。「これ、枯れちゃってる。」ホント、完全に死んでるんです。つまり、かつて咲いていた花は消えてしまって、葉っぱ一枚も残っていない... なぜ神は...？ 多分それは「墮落」のためかもしれませんが、でも冬のプルメリアの木の枝は、枯れているように見えませんか？ 私は「枯れちゃってる」と思っています。あの木が本当に好きだっただけに、残念だ。妻は、枯れていないと言います。どうということ？ ちょっと待って、今にわかるわよ。まあ、それが問題です。私は待ちたくない。私は待つのが嫌いです。あなたもそうでしょ？ 私たちは待つのは嫌です。しかし、どうということかと言うと、冬の間は、枯れていると思います。何も起こりません。いえ、多くのことが起こっています。何が起こっているかと言うと、これらの木の根は、ヤシの木やすべての木にも 当てはまることですが、根が深く、強く潜り込むので、「もし」ではなく、「必ず」春の嵐が来るときには、私はヤシの木が大好きです。 ああ、私はヤシの木が大好きです。本土の私の出身地には、ヤシの木はありませんでした。松です。雪の乗った... だからヤシの木が大好きです。でも、嵐の時、ヤシの木は弓なりに曲がりますが、それらは折れません。根のためです。根が丈夫で土の中に深く入っているから、木は耐えられるのです。ちなみに、それは嵐の中でとる 良い姿勢ではありませんか？ 主の前にひれ伏す。主の前でへりくだる。それで、これをはっきりさせましょう。どんな試練もあなたの終焉にはなりません。そして、その理由は、神は、その試練の中で、また、その試練を通して、あなたがその試練を乗り越えるために 必要なものを、あなたに与えてくださるからです。すなわち、持久力、強さ、忍耐力。ああ、私は、それが別の方法で得られたら どんなにいいかと思います。いつか そうなったらいいと思う事があるんですが、 テレビで新薬の宣伝を視たことがありますか？ 彼らは副作用を羅列しながら、 いつも催眠的きれいなメロディーの音楽を流します。皆さんは、その副作用

に耳を傾けたことがありますか？ あーあ、大変ですよ。死、内出血、... そんな薬を服用したいと思いませんか？ しかし、私は、忍耐薬が飲めたらいいのと思います。試練が来る、忍耐薬を飲めばいいんだ。私にはできるぞ！ しかし、そううまく行きません。どうやって切り抜けるか知ってますか？ 試練を通過せねばなりません。あなたが必要とする強さは、あなたが経験している試練の中にあります。そうやって乗り越えていくのです。その下で、耐えに耐えることができます。ちなみに、これが両方に当てはまるということを書いておかないと、職務怠慢になると思います。説明しますね。私たちは、これをすぐに逆境という文脈で引用します。神は、あなたの手に負えないものは与えられない。神は、あなたの手に負えないほどの繁栄も 与えられない、と考へたことはありませんか？ いや、考へてみてください。つまり、神はご存知です。..... それはあなたのためにならない。私たちが「ああ、神よ、一回でいいから、宝くじを 当てさせてください。当たった分は什分の一を献金します。」と祈るとき、神はダメだと言われます。なぜなら、もしも あなたを宝くじに当選させるなら、それはあなたを滅ぼすことになるから。宝くじに当たった人の、その後を追跡する番組を見たことがありますよね。例外なく、彼らの人生は完全に破壊されています。ほぼ例外なく、彼らはこういう趣旨の事を言います。「これは私に起こった最悪のことだった。」私の結婚はダメになった。家族も、子供たちもいなくなった。私の人生は台無しになった。だから、それは両方言えるのです。さて、なぜ私がその話をしたかと言うと、この安全機構があるからです。もっと良い言い方がないのですが、神が、私たちの人生に 許されるすべてのものには、安全機構があるんです。神は最初にそれを許し、承認しない限り、敵が私たちに 何かをすることを決して許さないことを、理解してください。混乱してしまった人たちがいますね。補足させてください。神は、それが最終的には、あなたの益と神の栄光と なるのでない限り、絶対に敵がそうするのを許しません。ヨブに聞いてみてください。ペテロに聞いてもいいでしょう。彼らだけでなく、他にも多くの人があります。でも、ヨブのことを考えましょう。結局のところ、彼は神をのろいませんでした。サタンは、ヨブの髪の毛一本にでも触れる前に、許可を得なければならなかったことを、理解してください私は、私の頭の毛については、神はサタンに 許可を与え過ぎだと思ふますとりあえず、私の問題はここまでにしておきます。ヤコブの手紙第1章、これにも少し時間をかける必要があります。たぶん誤解されるような言い方になるでしょうけど、牧師なのに、「この一節は大嫌いだ」と言う。そんな事は牧師が言うべきじゃない。まあ、言い方が良くないかもしれないですね。私はこの節が意味すること、その内容が嫌いです。まあ、大体そういうことです。しかし、ヤコブはこう言っています。

ヤコブの手紙第1章

「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。」 -2節-
ほんとに？ いや、これは原文がうまく翻訳されてない。そこで、原文を調べます。「私の兄弟たち。それを全くの地獄だと思いなさい」と書いてあると思って。そうですね？「様々な試練にあうときは...」いや、「この上もない喜びと思いなさい。」です。聞いてください。もし私たちが自分に正直になれば、試練に直面した時に大喜びする人が、実際にどれだけいるのでしょうか？ いいですか、神は、それを実行する能力も一緒に 与えない限り、何も仰いません。神には出来ません。それは、神のご性質と矛盾してしまいます。聖書は全て、神の靈感によるもので、私たちへの教えと 戒めと矯正（私たちはこの部分が嫌です）のために 与えられたものです。（2テモテ 3:16）しかし、このような激しい苦難に直面しているとき、それをこの上もない喜びと考へることが どうしてできるのでしょうか？ どうしてそんなことが可能でしょうか？ その答えは3節にあります。「あなたがたが知っているとおり、信仰が試されると忍耐が生まれます。」そして4節でこう言っているのですが、キーワードは“let（させる）”です。それは、私たちが戦うことを意味しています。成り行きに任せないのです。「その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。」で、ここからが本題です。神は、あなたの人生の中で、あなたの人生を通して、あなたの人生に、何かをなしたいと願っておられます。しかし、彼には、まだ出来ません。神は先ず、神があなたのために準備しているもののために あなたを整える必要があります。あなたが、それに対処できるように....

それで、試練がやって来ます。神は、あなたを成熟させる必要があるからです。神は、あなたを成長させる必要があるのです。神は、あなたの中に忍耐力を生み出す必要があります。神は、あなたを試して証明する必要がある、時には、あなたのためにそれをしてくださるのです。どういう意味かと言うと、あなたが試練の真っ只中で、「もうおしまいだ」と思って、思い出をありがとう♪ もう終わりだ、と思っている時…あなたが気づいていなかったのは、あなたが経験した事を 経験しない限り、知り得なかった事を、神が知っておられたということです。そして、あなたがそれを乗り越えたとき、あなたは、ああ、すごい！ 神よ、私は切り抜けました！「乗り越えるって言うだけだろ！」ええ、でも、うわー。そして、どうなるかと言うと、「私にあれが乗り越えられたのなら、乗り越えられない試練はない。」それがポイントです。皆さんが落ち着かない気持ちにならなければいいのですが、証として、とてもプライベートな話をします。娘のノエルが亡くなった時、それは私の人生の中で 最も辛い経験だったと言わざるを得ません。正直なところ、(神が私の心を知っておられますが)、私たちはもう絶対に立ち上がれないと思っていました。私が知ることが出来なかったのは、神は実際は、何か私の理解をはるかに超えたもののために、私を整えてくださっていたということでした。

神の道は、私たちの道よりも高く、神の思いは、私たちの思いと異なるからです。(イザヤ 55:8-9 参照)

神は何かを計画しておられました。彼が何を計画していたか分かりますか？ これです。この教会です。ことの次第は次の通りです。死に逝く娘を抱いて座っていた私は、片手に聖書を持ち、片手に娘を抱いていました。娘は、トリソミー 18 のせいでとても小さかったんです。娘は 24 時間介護が必要だったので、私と妻は交代で寝ていました。私の番は朝 4 時までで、妻が 4 時に起きると、私は床に就きました。いや、その逆だったと思います。とにかく、今ではもう、はっきり思い出せません。しかし、彼女は 24 時間体制の看護を必要としてました。私はただ、私が神に泣き叫んでいた夜のことを覚えています。そして、こんな風に考えていました。「主よ。私たちは教会を始めたばかりです。」私は事業も営んでいて、週 7 日働いていました。それが私の「テント作り」のミニストリーで、私たちはそれで生活していて、私はこの教会も始めていました。主よ、なぜですか？ なぜですか、主よ？「ああ、いまに分かるよ。」主は私に、詩篇 27 篇 13 節と 14 節を与えてくれました。私はそれ以来、その聖句に必死でしがみついてきました。ダビデは、こう書いています。私は勇気を失っていたらう。

詩篇 27 篇 13 節

「ああ、私に、生ける者の地で主のいつくしみを 見る事が信じられなかったなら——。」

そして彼は、自らに語り掛けます。ちなみに、それは良い事です。独り言を言うのと、自らに語り掛けるのは…詩篇 42 篇と 43 篇のように。多くの人が、その二つは一つの歌だと思っていますが、ダビデが自分に語りかけていて…時には、自分に言い聞かせることも必要なんです。「そこに座れ、少年！」「話しがある。」「わがたましいよ。なぜ、おまえはうなだれているのか。私はなおも神をほめたたえる。」時には自分に語り、思い出させ、それを 自分に言い聞かせることも必要です。それで、神は私に詩篇 27:13-14 を与えて下さいました。その御言葉は、「待て。」「待て。」「待ち望め。主を。」いまに分かる。「とにかく待って、すぐに分かるから。」と言いますよね。それが詩篇 27:13-14 です。待っていればいい、そのうちに分かる。繰り返しになりますが、私は待つのが嫌いです。今すぐ見たい。「見ることは信じることだ(百聞は一見にしかず)」と言いますから。でも、問題は、その逆が本当なんです。信じる事が見る事(信じれば見える)なんです。ただ待っていなさい。今にわかる。ああ主よ…どうでしょう。どうしたら…そして医療費の請求書がどんどん送られてきます。どうしたら…絶対無理です。「いや、道はある。」ない！あるんだ！ただ待ちなさい。今にわかる。最初にここへ来た時に、私は助言を受けました。とても良い助言でした。ハワイで教会を始めるために、神の召命を受けていることを 確認した方がいい。その理由は次の通りです。本土から来る多くの牧師たちは、こんな感じですよ。「はい。しもべはここにおります。主よ、私を遣わして下さい。」「誰かがハワイへ行かねば…」「主の宣告…」(笑)…しかし、人々が休暇を過ごす(いや、過ごしていた)ハ

ワイは、牧師が宣教をするハワイとは違います。それは非常に難しく、高くつき、すごく費用がかかります。非常に難しいので、やって来る多くの牧師たちは挫折します。数年たつと、彼らは諦めて、去っていきます。そして彼らは去る時に、人々に嫌な印象を残して行きます。ですから、あなたが教会を始めるためにここに来たら、みんながあなたを見ているんですよ。あなたもまた、本土から来た他の牧師たちと同じようになるのか？ ここに来て、仕事を始めたら、「うわぁ！思っていたのと違う！」そして去る。それとも、あなたは鋤から手を放さないのか？（ルカ 9:62 参照）私たちが、教会を始めたばかりの頃は教会員は40～50人くらいだったと思います。そのうち半分は、妻の家族でした。（笑）私たちが12年間借りていた、あのセブンスデー・アドベンチスト教会では、木製の会衆席がガラガラで、私が話す度にこだましていたのを思い出します。「祈りましょう」と言えば、「～ましょう、～ましょう」って感じでした。誰もいなかったからです。そして、ノエルが死んだ時、教会の人たちは私を見ていました。どうするつもりなんだろう？ 本土へ帰るのか？ ギブアップするのか？「そう簡単に追い払われたいぞ」みたいな感じで、私は鋤から手を放しませんでした。で、神は何をなさったかというのと、人々が見て「おい、こいつはどこにも行かないぞ。」「彼は本気だ。」「彼は召されている。」となった時、彼らも本気になりました。やはり、主が私の心をご存知ですが、私は、その成長過程をなぞることができます…。神が教会に加えてくださったのであって、それは私がどうこうしたからではありません。私はただ忠実に、鋤に手を置いていただけです。神はその時から、教会に人を加え、教会を成長させ始めました。その間のことですが、私たちは、娘が欲しいと祈っていました。男の子が二人いるので。男の子が二人いると、もう男の子は欲しくありません。娘が欲しくなります。（笑）という事で、主に祈りました…。ですから、娘ができると分かったときは、わあ、主をほめたたえようって感じでした。そして、主は彼女を御許に召された…。それによって心底まで揺さぶられなかった、と言ったら私は嘘を言っていることになります。ノエルがイエス様のもとに逝ってから45日後、妻が私のところに来て、「あなた..」と言いました。「私はもう一人娘が欲しいの。」私は、笑いました。信仰深い私は... オー、ハニー！ 私たちは子供を持つのに、十年かかりました。私たちは、医学界が「原因不明の不妊」と呼ぶケースでした。「原因不明の不妊症」の意味が分かりますか？ それは原因不明です。説明できません、しかし不妊です。では、楽しい午後をお過ごしください。私たちは、あらゆる事を試みました。体外受精も試みました。養子縁組までしようとしたんです。実際に、ある女の赤ちゃんを養子にする準備が出来ていました。出産にも立ち会いました。妻は中で付き添って、私たちは名前までつけました。産みの母親は15歳。公開養子縁組。すっかり準備が整っていました。出産後、産みの母親は絆を深め、養子縁組のために赤ちゃんを預ける前に、2、3週間だけでも家に連れ帰りたいと願いました。私たちには分かっていました。「主よ、分かりました。」養子縁組を解消し、その母親は赤ちゃんを育てることにしました。それは1997年6月1日のことです。私は昨日の事のように覚えています。私はその日、主のもとに行き、神に向かって泣き叫んだからです。そして、主は私に、御言葉を下さいました。声は聞こえませんでした、その必要はありませんでした。こういう御言葉です。アブラハムとサラと同じように、「わたしは今日から一年後に、あなたに息子を授けよう。」10年間（子どもができなかったのです。）1998年6月2日、厳密に1年後の6月2日に長男が誕生しました。さて、私にその言葉があったとき、主は言われました。「わたしが1年後に息子を与える」と妻に告げなさい。そして、サラのように、彼女はあなたを笑うだろう、と。この話には要点がありますからお付き合い下さい。私は、主が命じられたように妻の所へ行きました。「ハニー、神様が語ってくれたんだ。」「今日から1年後に息子が生まれる。」妻は、サラと同じように、笑いました。「いいのよ、ハニー。」私が正気を失くしてしまったみたいに。まあ、それは事実かもしれませんが、「私たちはこれを乗り越えましょう。」いや、ハニー、今日から1年後に息子が生まれるんだ。そして、そうになりました。でも、私たちは子どもを産めなかったんです。妊娠はしました。私たちは、妊娠中に子供を亡くしました。一人は妊娠中記に。流産で。もう一人は、子宮外妊娠で... 妻は死にそうになった。あの夜のことは忘れられません。そんなわけで、長男が産まれて、その後、子宮外妊娠があつて、卵管を一本失いました。

私は女性の生体について詳しく学びました。そんなに詳しく言うつもりはないのですが。どんな男もそこまで知る必要はないはずで。とにかく、卵管を1つ失いました。言い過ぎですか？申し訳ありません。私たちは卵管のない片側からしか、排卵していませんでした。なので、次男は言うてみれば、奇跡を超えるものでした。なぜなら、私たちが排卵して...「私たち？」まるで、私自身の事のように言ってますが、勘弁下さい。私のために、祈って下さい。しかし、排卵は反対側で起こって、もう一本の良い卵管を通して...それが次男のリーヴァイです。それで、ノエルを妊娠した時には、想像できると思いますが、私たちは女の子が生まれることに恍惚としていました。しかし。。。2006年5月4日、カピオラニ病院で、彼女は私たちの腕の中で亡くなりました。そして、その痛みは、実に言葉にはできないんです。深すぎて...言葉にすることができません。しかし、妻が「もう一人娘が欲しい」と言ってきて、今度は、私がサラのようになって笑う番でした。彼女は、私はもう一人娘が欲しいと言う。ノエルの代わりではなく、ノエルのことで傷ついた心を癒すために。神の御業で、私たちは一回目で受胎しました。奇跡です。さて、トリソミー18だと、医学的な理由は詳しく説明しませんが、再びトリソミーを妊娠する確率は...トリソミーとは18番染色体の数が3本であることを意味するんですが、その確率は下がらず、実際、どちらかというが増えます。それで、私たちは自動的にハイリスクの妊娠になりました。私たちの当時の年齢は言うまでもありません。何歳だったか言うつもりはありませんが。ですから、定期的に超音波検査に行く必要がありました。私は、妻と私が祈った日のことを忘れることはありません。「主よ。」それは、4Dと呼ばれているもので、その技術ときたら、信じがたいものです。何でも見えるんです。見たくないものまで。それで検査室の中に入って、祈りました。「主よ。」私たちは、もう女の子だと知っていました。彼らはいつも「性別を知りたいですか？」と尋ねますから。教えてくれてもいいけど、女の子なのはもう知ってます。それで、しかし、私たちが見たかったのは、彼女の手でした。トリソミーだと、手が開けないからです。手を握りしめてますそして、足を見たかったのです。トリソミー18では足は“凹足”と呼ばれる形をしています。すべてが変形しています。いいですか？ですから、彼女の手が開いているのと、彼女の足を見たかったのです。超音波検査をすると、私たちの娘は、私たちに手を振ってくれたのです。その時はわからなかったのですが、祈っていたものが全て手に入ったのです。「大丈夫よ」という感じだったからです。「私は元気よ。すぐ会えるわよ。」さて、彼女は今は13歳です。彼女を知っている方もたくさんいらっしゃいます。私が祈ったことの一つは、彼女が健康であるのは勿論のこと、美しく、賢い子になってほしいということでした。私の知らないところで妻は、妻だけが出来るように、彼女が健康で美しく、賢くなるだけでなく、天使のような歌声を持つことを祈っていました。なんということ。あとにご存知の通りです。私がその話をしたのは、こう言うためです。そう、あなたが経験していることは、耐えがたいように見えるかもしれませんが。言葉にならないほどの痛み、困難、あなたにはどうしても見えません。神は一体。ローマ人への手紙8章28節が当てはまらない、ただ一つのケースであるかのように。

ローマ人への手紙8章28節

「神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となる...。」

これは...これだけは当てはまりません。ここから神がどうやって益をもたらすのか、私には絶対に分かりません。「とにかく待ちなさい。いまに分かります。」私は、神の御言葉に基づいて約束します。神がなさった事のゆえ、そして神のご性質のゆえに。始めと同じように閉じます。関係ありません。私は気にかけているし、あなたを愛していますよ！私はあなたが経験している事を気にかけていますが、あなたが何を経験していても、関係ありません。それが如何にひどいかは、関係ありません。神はいつもしみ深いお方です。それは、神がいかに慈しみ深いかを変えることはできません！ただ待つてください。いまに分かります。では、祈りましょう。お立ち下さい。主よ、感謝します。叫んでしまい、お詫びします。本気で誤ってませんけど。主よ、本当にありがとうございます。私はここに立って、あなたの教会にいるあなたの民を見えています。それは、圧倒的な奇跡です。主よ、困難、試練、痛み、苦し

みを感謝します。 ああ、神よ。今日ここにいる方や、ネットで見ている人のために祈ります。 彼らは苦しんでいます。それも本当にひどく...主よ、あなただけができるように、聖霊によって、彼らを慰め、励まし、強くし、思い出させてくださるよう祈ります。このように状況が悪く見えても、彼らが あなたのいつくしみ深さを見ることになるのを知って、 ただあなたを待ち望み、あなたに信頼しますように。 イエス様の御名によって、 アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7